



4/7 新しい製造棟が稼働しました

雪印メグミルク機分内工場（北川俊幸工場長）にバター製造などに関わる新棟が完成し、起動式でテープカットが行われました。新棟では原料の一部を自動で搬送する台車が導入されたほか、停電の備えとして約24時間稼働可能な自家発電機が設置されました。起動式で北川工場長は「これからも生産者に寄り添って生乳の付加価値を高め、全国に安心・安全な乳製品を提供していきたい」と述べました。



4/1 2カ所のへき地保育所で給食が始まりました

これまで給食のなかった沼幌へき地保育所、ひしのみ保育園（塘路）で給食が始まりました。さくら保育園で調理された給食が提供されています。

おめでとうございます

3/29

標茶町森林組合代表理事組合長の野呂英二さん（写真中央）が模範的な森林施業技術を有する林家として北海道指導林家認定証を交付され、伝達式が役場で行われました。野呂さんは「大変光栄です。これからも標茶町の森づくりに少しでも貢献したい」と話されました。



3/22

標茶町スポーツ推進委員の前島仁さん（写真右から2人目）が北海道スポーツ推進委員功労者表彰を、高原俊彦さん（写真左から2人目）と佐藤正明さん（写真中央）が釧路管内スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。



4/6

軟式野球チーム標茶ジャイアンツの笥陽之介君（標茶小3年）が、多賀グリーンカップ争奪第17回学童軟式野球三年生大会において、北海道選抜メンバーとして出場、第3位に入賞し、その報告に役場を訪れました。笥君は「2回無失点の好投やタイムリーヒットが打てて、チームに貢献できるいいプレーができた。今後も活躍できるように一生懸命練習したい」と出場した感想を述べました。



3/25

茶安別地区で長きにわたりタンチョウ給餌人として尽力された菊地睦子さん（写真右から2人目）と多治見恵美さん（写真左から2人目）が、令和2年度北海道知事感謝状（自然保護関係功労者）を受賞され、伝達式が役場で行われました。2人は「最初は懐かず苦労したが、今では餌を手から食べてくれるほど懐いてくれた」と話されました。



ありがとうございます

3/30

明治安田生命保険相互会社（東京都、根岸秋男代表執行役社長）から、本町で進める地方創生の取り組みに対し、企業版ふるさと納税にあたる寄付をいただきました。感謝状の贈呈を行った落合一美釧路支社長は「寄付を通して、地域の活動に一步踏み込み、地域との絆を強く持ち続けたい」と話されました。



3/16

標茶町農業協同組合（千葉孝一代表理事組合長）が、食農教育などの取り組みを実践する「JAバンク食農教育応援事業」の一環として、小学5～6年生を対象とした補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を町に寄贈してくださいました。同教材は町内の小学校に配布されました。



4/1

標茶町商工会女性部（三枝由美子部長）が「愛の鈴」を、茶安別在住の加茂スミ子さんが「豆草履」をそれぞれ手作りし、町に寄贈してくださいました。鈴と草履は今年入学した小学1年生に配布されました。



3/19

標茶町女性団体連絡協議会（千葉博子会長）が、新型コロナウイルス感染症対策として、新入学児童に手作りマスクを寄贈してくださいました。一つ一つ手作業で作られたマスクは、町内小学校の生徒に配布されました。



4/7

山下コンサルタント（釧路市、山下吉己代表取締役）から、本町で進める地方創生の取り組みに対し、企業版ふるさと納税にあたる寄付をいただきました。山下代表取締役は「取り組みを通して、釧路川周辺の自然環境保全などにも寄与できれば」と話されました。



3/25

釧路新聞社（星匠代表取締役社長）が、町に釧路地方の歴史や特産品にちなんだご当地クイズ「わがまちクイズ」を寄贈してくださいました。星社長は「小中学校で使っていただき、地域をより知っていただければ嬉しい」と話されました。



町内在住のカメラ愛好者の方へ

町内で行われたイベントや明るい話題など、何でも結構ですので、写真の投稿をお待ちしております。

役場企画財政課地域振興係
「投稿写真コーナー」

3/27

磯分内連合振興会子供育成部（菅原卓哉部長）の皆さんが地域貢献活動として、磯分内農村公園の枝拾いをしてくださいました。この日は晴天に恵まれ、小学生12人、大人22人の計34人が参加されました。

